

アーサー・コナン・ドイルは、1859年5月22日にスコットランドのエディンバラで生まれた。父親は弁護士、母親は教師という家庭で育ち、幼い頃から文学や歴史に興味を持っていた。1876年、エディンバラ大学医学部に入学し、1885年に医学博士号を取得した。卒業後、医師として開業するが、その傍らで小説の執筆も始める。1887年、初めての長編小説『緋色の研究』を発表。この作品で、名探偵シャーロック・ホームズとその助手ワトソンが登場する。ホームズは、鋭い観察力と推理力で数々の難事件を解決する、世界で最も有名な探偵となった。ドイルはホームズシリーズを20年以上にわたって書き続け、4つの長編と56の短編を発表。ホームズシリーズは世界中で大ヒットし、ドイルは当時の最も人気のある作家となった。ドイルはホームズシリーズ以外にも、冒険小説や歴史小説、SF小説など、さまざまなジャンルの小説を執筆した。また、政治活動にも積極的に取り組み、反戦運動や自由主義運動を行った。1930年、71歳で心臓発作により死去した。ドイルの生涯は、小説家としての成功と、政治家・社会活動家としての活躍の両面で輝かしいものであった。彼は、イギリス文学のみならず、世界文化に大きな影響を与えた人物である。ドイルの代表作であるホームズシリーズは、現在でも世界中で愛され続けている。ホームズは、単に探偵としてだけでなく、知性や勇気、正義感の象徴として、多くの人々に憧れられている。ドイルは、ホームズシリーズを通じて、人間の知恵と探求心の可能性を広げ、世界に大きな夢を与えた。彼の功績は、これからも語り継がれていくことだろう。

\*\*アーサー・コナン・ドイル「患者兼同居人」書評\*\*アーサー・コナン・ドイルの「患者兼同居人」は、シャーロック・ホームズシリーズの短編作品の一つである。1893年に発表されたこの作品は、ホームズとワトソンがあるロシア貴族の殺人事件の真相を解明する物語である。物語は、ある日ホームズとワトソンの元を訪れた開業医のトリヴェリアンから始まる。トリヴェリアンは、自分の同居人であるブレッシントンに、何者かが侵入した痕跡があることを告げる。ブレッシントンは、強硬症という病気で、外出する機会がほとんどない。そのため、侵入者はブレッシントン自身か、誰かの指示を受けた人物しかありえない。トリヴェリアンは、ブレッシントンの身を案じて、ホームズに事件の調査を依頼する。ホームズは、ブレッシントンの部屋の調査から、事件当夜、ブレッシントンの部屋に侵入した人物が、2人いたことを突き止める。そして、そのうちの一人が、ブレッシントンの首を絞めて殺害したことを解明する。事件の真相は、ブレッシントンの過去に隠されていた。ブレッシントンは、かつてロシアで、強硬政治家を暗殺したことがあった。その政治家の息子であるフョードルは、父の仇を討つために、ブレッシントンを殺害しようとしたのである。「患者兼同居人」は、ホームズシリーズの代表的な作品の一つである。この作品の魅力は、何と云っても、ホームズの卓越した推理力と洞察力である。ホームズは、わずかな痕跡から、事件の真相を正確に読み解く。その推理は、読者を驚かせるだけでなく、事件の謎を解くためのヒントを提供してくれる。また、この作品では、ホームズとワトソンの友情も描かれている。ホームズは、ワトソンを信頼し、彼に事件の調査を任せる。そして、ワトソンは、ホームズの推理を支える重要な役割を果たす。ホームズとワトソンの友情は、この作品の重要なテーマの一つである。「患者兼同居人」は、シャーロック・ホームズシリーズのファンはもちろん、推理小説ファンにもおすすめの作品である。ホームズの推理力と洞察力、そしてホームズとワトソンの友情を、ぜひ堪能していただきたい。以下に、この作品の具体的な評価点を挙げる。\*ホームズの推理力と洞察力は、まさに圧巻である。わずかな痕跡から、事件の真相を正確に読み解くホームズの姿は、読者を驚かせるだけでなく、事件の謎を解くためのヒントを提供してくれる。\*ホームズとワトソンの友情は、この作品の重要なテーマの一つである。ホームズは、ワトソンを信頼し、彼に事件の調査を任せる。そして、ワトソンは、ホームズの推理を支える重要な役割を果たす。\*事件の背景にある、ロシアの政治情勢も興味深い。強硬政治家を暗殺したブレッシントンと、その仇を討つフョードルの対立は、単なる殺人事件にとどまらない、政治的な意味合いも含んでいる。これらの評価点から、この作品は、推理小説の傑作として、高く評価されるべき作品であると言える。